

平成28年度 第5学年 授業改善プラン

教科	観 点	課 題	指導の視点	具体的な手立て・改善策
国語	国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正確に覚えていない。 ・主語と述語の関係を正確に把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の学習を計画的に進め、以前に学習した漢字も復習できるようにする。 ・文章の読み取りでは、要旨をまとめる活動を通して、話の内容を正確に理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の学習の際に、その漢字の成り立ちや漢字の意味、間違いやすいポイントなども指導する。また、漢字のミニテストを定期的に行い、漢字の定着を図っていく。 ・読みを深めていく際に、「誰が」「何をした」話なのかを文章の言葉から引き出していく。説明文でも、筆者の主張を明確にして要旨をまとめ、友達同士で交流することで内容を深めていくようにする。
	話す・聞く能力			
	書く能力			
	読む能力			
	言語についての知識・理解・技能			
全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて		・漢字の意味を考えながら、日常的に使えるようにする。	・漢字の学習の際に、その漢字の成り立ちや漢字の意味、間違いやすいポイントなども指導する。また、学習した漢字を日常的に使うよう意識付けをする。	
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・十分に意欲をもって、問題解決に取り組めない児童がいる。 ・表やグラフなどの資料から必要な情報を取り出す力が弱い。 ・既習の学習内容の定着が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自ら疑問に思っ、それらを解決していくための、学習問題と学習計画作りに努める。 ・各単元で、資料の読み取りの中から、わかることを丁寧に書きまとめるよう指導を進める。 ・資料の読み取りの回数を増やし、その資料が何を伝えたいものなのかを丁寧に読み取らせる。 ・資料と資料を関連付けさせ、自分の考えが導き出せるような、資料提示を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入において、児童に課題意識をよもたせられる資料を提示する。 ・社会科の資料集や本などから、なるべく多くの資料を提示する。 ・授業で予想をたてる場面において、既習事項をもとに考えるよう声掛けをする。 ・読み取った具体要素同士を比較したり関連づけさせたりしやすい資料をより多く提示する。
	社会的な思考・判断・表現			
	観察・資料活用の技能・表現			
	社会的事象についての知識・理解			
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて			
算数	算数への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の際に、既習事項を使って自力解決をしようとする考え方が定着していない。 ・基本的な計算力の定着が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決学習の流れを常に意識しつつ、既習事項を生かしながら考えさせられるような補助発問を常にしていく。 ・基礎的な計算がきちんとできるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の始めに既習事項を復習し、既習事項がその日の学習に結びつくようにしていく。 ・既習事項を意識させるために提示したり、言葉で述べさせたりして、問題を解決させるようにする。 ・朝学習、授業の導入時、家庭学習等を通して反復練習を行い、基礎・基本の定着をはかる。
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解			
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて			
理科	自然事象への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の定着が不十分な児童がいる。 ・既習事項をもとに予想を立てることが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項をを復習し、学習をスムーズに進められるように指導する。 ・既習事項や今までの経験から自分なりの予想をもてるように指導する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の系統を考え、単元の初めにこれまでの学習を確認してから、学習を進めていく。また、自分の手で実験・観察したものはよく理解しているので、問題解決的な学習の中でできる限り実験・観察を行うようにする。 ・既習事項や今までの経験を想起できるような補助発問を通して、言葉で表現できるようにする。また、予想したことを全員発表させることで、うまく表現できなかった児童も考えられるようにする。
	科学的な思考・表現			
	観察・実験の技能・表現			
	自然事象についての知識・理解			
	児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて			
音楽	音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等に向けてよりよい表現の工夫をする。 ・新しい課題に対して意欲が低い児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱・合奏で全体の響きや楽器の音を聴き、表現の楽しさを味わい、心を合わせて演奏しようとするようにさせる。 ・導入での課題提示を工夫し、意欲をもてる授業づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を理解し表現するためにはどんなことに目を向けて考え、工夫したら良いか、具体的な視点を示し練習させていく。 ・「やりたい」という気持ちを大切に、一人ひとりが生き生きと表現できるようにする。
	音楽表現の創意工夫			
	音楽表現の技能			
	鑑賞の能力			
	児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて			
図画工作	造形への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学年全体として、制作課題に対して素直に取り組もうとする児童が多いが、その中であって授業課題として意識が低く、一定の時間の中で仕上げられない児童がいる。 ・展覧会に向けて、よりよい表現の工夫をし、作品の完成度を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品づくりに見通しをもたせる。 ・集団の中で切磋琢磨し、向上していこうとする雰囲気づくりをする。 ・作品は表現の形であり、表現は伝えたいという思いから生まれることを意識させ、制作に臨ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をいくつかの段階にわけ、いつまでに、どこまで仕上げればよいのかを明確に示しながら制作に取り組ませる。 ・制作途中で、グループごとに、よりよい作品にしていくための意見交換の時間を設ける。 ・作品チェックを細目にし、より豊かな表現への具体的なアドバイスをしていく。
	発想や構想の能力			
	創造的な技能			
	鑑賞の能力			
	児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて			
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての家庭科に興味をもち、意欲のある児童が多いが、調理や裁縫等の技能面での経験が少ないので、思い通りにいかず、習得が難しいと感じる児童がいる。 ・自分で考え、工夫しようとする児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を確実に伝えられるよう、スモールステップで丁寧に指導する。 ・よりよいものを作る意欲を高めていくように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業や作品作りの際に、手順の掲示や映像などで理解しやすくしたり、いつでも確かめたりできるようにする。 ・作業時間を十分に取れるよう、授業の組み立てを工夫する。 ・友達の意見を聞いたり作品を見合ったりする時間をとり、自分の学習や作品作りに反映できるようにする。
	生活を創意工夫する能力			
	生活の技能			
	家庭生活についての知識・理解			
	児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて			
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技能は定着しているが、自己の課題やチームの特徴に応じた工夫をする児童が少ない。 ・個人技の種目では、集中して練習する児童が多いが、チームプレーとなる単元では、感情的になってしまう児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更に上達するためにどうしたら良くなるのか気付かせる。 ・課題をつかんだり工夫したりするための視点を提示する。 ・勝敗を受け入れる姿勢を身に付け、協調性をもって運動に取り組む姿勢を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のめあてを明確にしたり、ICT機器を活用したりして自己の課題をつかませる。学習カードを活用して工夫の仕方を示す。 ・グルーピングやルール作り、役割分担を丁寧に、称賛や励ましの声かけの視点を示す。
	運動や健康・安全についての思考・判断			
	運動の技能			
	健康・安全についての知識・理解			
	児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて			